

---

【質疑応答】JIPDECセミナー

令和5年度 経済産業省デジタル関連施策について

経済産業省 商務情報政策局総務課 政策企画委員  
神田 啓史氏

**Q. デジタルスキル標準と従来のITSSの違いは？**

A. ITSSはベンダー向けという捉え方。今社会から求められているのは、どちらかというユーザーサイドの企業の方で欧米企業がいわゆるデジタル人材はユーザー側にいるが日本はベンダー側にいるといわれており、求められるのは足りていないユーザー側にどれだけデジタル人材を確保できるかという視点になっている。これまでにITSSでベンダー側に出していた情報も重要であるが、一方でユーザー側に求められる人材像（ビジネスアーキテクト）のようなものが「デジタルスキル標準」と捉えていただければと思う。

**Q. ユーザー標準UISSとの関係は？**

A. 「情報システムユーザースキル標準（UISS）」とは、企業の情報システム部門の人材育成を対象に、DX以前の時代において、情報システムの開発・運用を想定して作成されたもの。一方、「デジタルスキル標準」は、デジタル技術を活用して競争力を向上（DX）させる企業等に所属する人材を想定している。

DXとの関係で情報システム部門の位置づけは、例えば以下のパターンのように企業ごとに異なっているものと考えられる。

（情報システム部門の位置づけの例）

①DXを行っておらずシステムが旧アーキテクチャのままの昔ながらの情報システム部門のパターン

（情報システム部門はUISS）

②DXは事業部門が主導し、情報システム部門は従前からのシステムの運用を担うパターン（事業部門はデジタルスキル標準、情報システム部門はUISS）

③情報システム部門が戦略部門に変革し、レガシー刷新とDXをリードしているパターン（情報システム部門はデジタルスキル標準）

以上、企業毎にDX推進の戦略や方向性を勘案し、デジタルスキル標準とUISSの選択を判断して頂くものとなる。



**経済産業省 商務情報政策局総務課 政策企画委員 神田 啓史氏**

2007年に東京大学法学部を卒業後、経済産業省入省。  
資源エネルギー庁電力・ガス事業部、特許庁総務課、内閣官房、原子力損害賠償支援機構出向、留学（コロンビア大学大学院）、経済産業政策局経済産業再生課、大臣官房秘書課、製造産業局自動車課、大臣官房政策企画委員、22年7月より現職。

本内容は、2023年1月26日に開催されたJIPDECセミナー「経済産業省 令和5年度デジタル関連施策について」の質疑応答をまとめたものです。